百富士

諸州名勝地

四

百富志

江之嶋

むかし聞たをやくも
晴て伊豆ヶ嶺
思ふにまさりも
なをこの冨士の根

源公忠

飯嶋

多古江 三浦

白妙の
浪又涼し
沖の不二
武山
對茂

旗立松
軍見山

林浦

冨士をかくせく
松の林のうし原

竹茂

三嵜

去へ深さや
比川の中ま
富士の影

乔笑

莆屋

筑波山
芙峯樓
下総濱野
柴花
春の浦や
富士とくらふれぬ
帆のおゝ

冥きの
初しぬ流。や
手々の富士

百井

銚子浦外川　下總

蒼海立白峯
外更無一物

かとゝされ
龍の卵の
富士へ飛ぬ

市石菴
弄船

牛堀 常州

筑波山

明月や
むこうの岸ハ
冨士もあり

松月菴
遊之

足高

御陳屋

ゐ万諸
それも見つらん
花と富士

神奈川
沾郊

鶴頭山

願成就院

チクシ石

ヨリトモ公
産ノ井

日金峠
豆州
富士へ這ふ
峠の色の
暑うふ
澧水

涼しさや
軒まく水に
富士の父

梨朝

時雨ては
生写す富士や
寿堂品

三嶋
活羽

白糸瀧　駿州

雪のむく
不二のふ野を
わきつゝく
絲ちりめんや尓
しらいとの瀧

秋香舎
竹賀

ウミ

棟小屋まて
峯いく川秋の音

松羅

阿毛山

風やあをうら澌て不二凄し

柴隣

宮原
駿州
江左

高原 駿州
富士白し
武青山
至暁舎
宗考

傳法
駿州
冬の富士
川崎
祇童

上ノスワ

下ノスワ

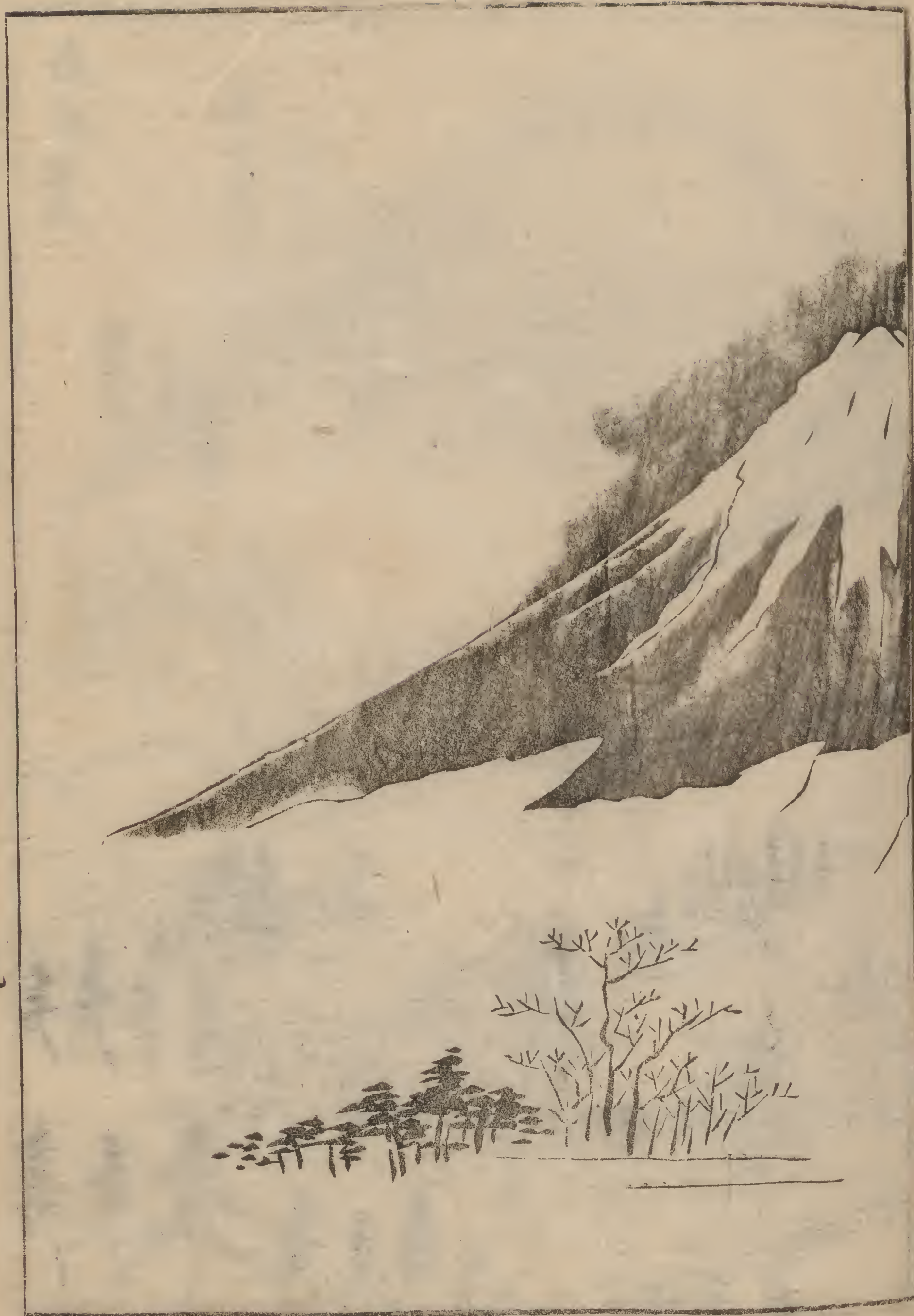
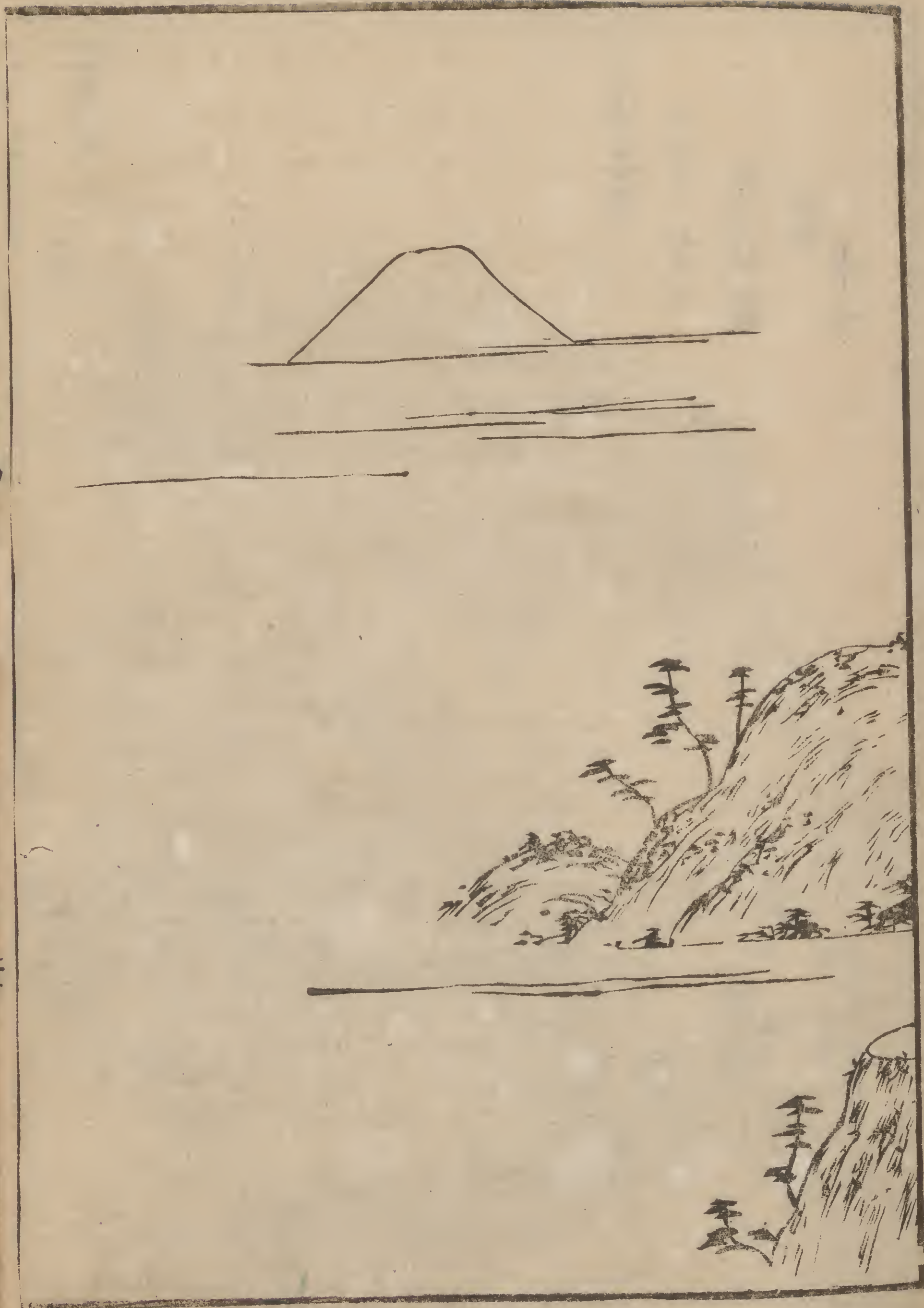
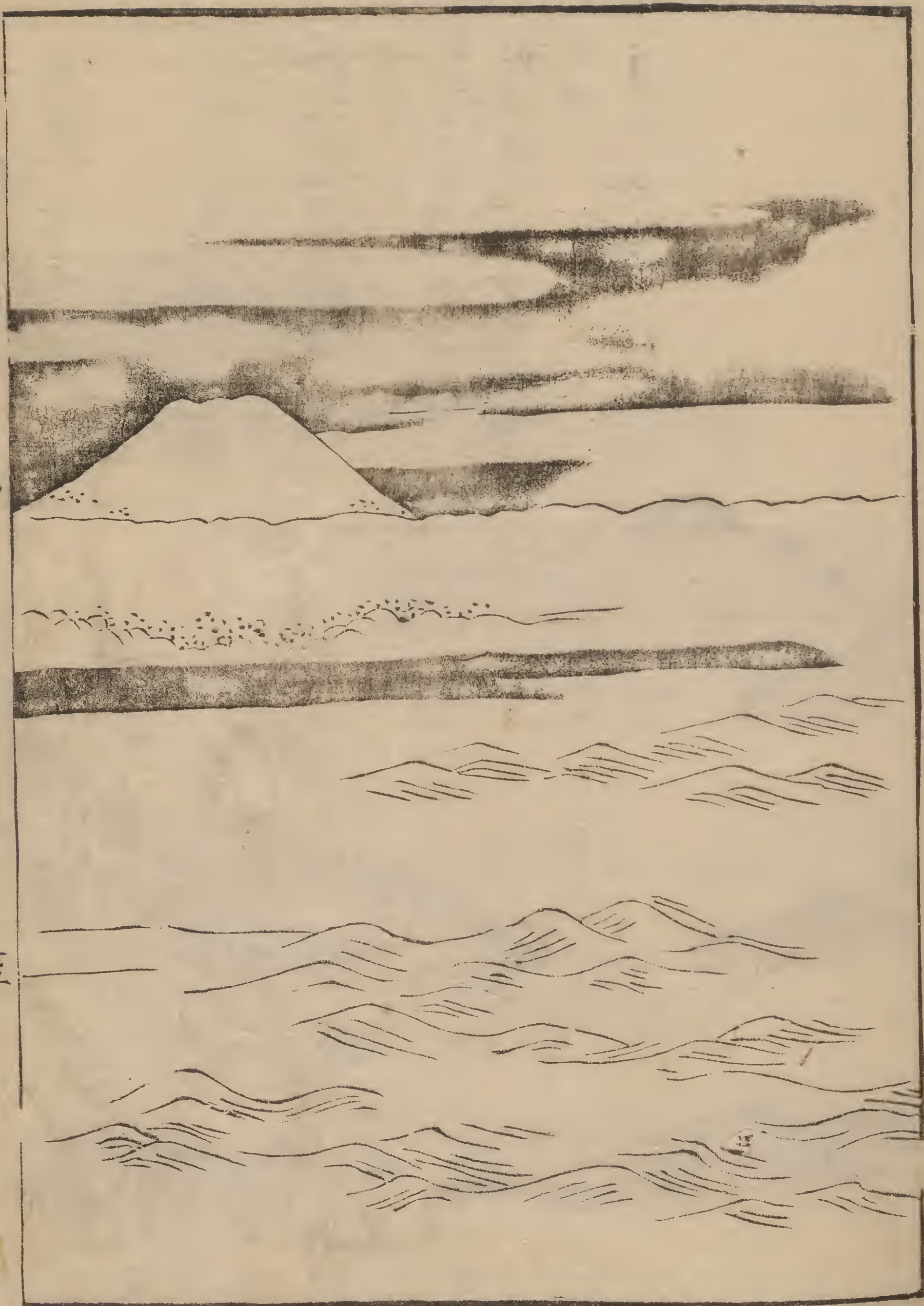
朝熊山 勢州
涼しさや
不二と
まふし原
走明鏡
好笑

愛宕山 山城

まふ入る
ちらゝらゝ
富士の嶺

葛飾
素丸

明州津

探幽齋筆

渡唐 雪舟筆

巨嶂稜層鎮海涯扶桑
堪作上天梯岩寒六月
常留雪勢似青蓮直過
氏名利雲連清遠古虚
堂壓遠老禅栖乗風吾
欲東遊太特到松原竊
羽衣

仲和

富士絶頂

是ヨリ上木ナシ

吉田口

尚羊八賀以芙
峯嶽墜云翰子
支間香飛笛尺
採藥合浮元突
老人以宏

若鄰河頼山

亭ハつねに昔語りのおくてかしこの
名所勝地をよく士峯の風景を守る森の木立
川の流れ田野民屋のありさまひとつひとつよく
思ひ起しまふにいとしきあはれ懐かしてそのうち
こくまるの筆久しく成て其数あまた流れりぬ
やうやく老すでに遠ざかりぬるおもひ煙ふ
あしたゆふべも絶ずふるとき角田河
また山々してもひくの道のゆきかひとても
高低の千々いとなく晴く遠くいかむことよ

似のくせ体裁ゆかれくとんとやいづ
その業にうりてをきたれ世の本の事に写へし
人の画きるとも摸して見つきとりあつめ
百紙にあまりぬ亭画法にかなふく経営位
置なきやうのうちに文字あまりて筆のさき
めでたく見し人に見せたるに捐ひし八雲殿
の具をもなしていりしと見えしく自然の
むしろに心ありける友人こそかく伝へをきつの
昼もよの云の集ともにありて小櫻よもち

ちめ志川なる窓のうちになりて貌は是
世よ噂せらにもてはやさるよりて文字こ
こうく人の絵ともてはやして遂に剞劂氏よ
授るに如ぬ
明和丁亥の秋河村岷雪葛飾の蹊二ゑに
しるす